

組機様式第8号 『労働保険等 **一括有期事業総括表** 算定基礎賃金等の報告』<建設> 作成にあたっての留意事項  
(総コン用)

※ この「労働保険等 **一括有期事業総括表** 算定基礎賃金等の報告」は、「一括有期事業報告書」と併せて委託事務組合へ提出します。

前年度(令和7年4月1日から令和8年3月31日)の労働保険料を確定させるため作成します。  
労働保険の保険料を算定する基礎ですから誤りのないように記入してください。

※ 別紙 一括有期事業報告書(様式第7号)について

建設業の事業で、発注者から直接工事の施工を請け負った工事を行っている場合に作成します。工事の名称、所在地、期間、請負金額、賃金総額などを記入します。

なお、下請工事は報告の必要はありません。

また、労働者を使用しない工事は対象となりません。

〈請負金額の算出について〉

一括有期事業報告書(甲)の①「㊦請負金額」の欄は、委託事業主が発注者などからその事業に使用する工事用の資材などを支給された、または機械器具等を貸与された場合は、支給された価額相当額または機械器具等の損料相当額が、請負代金の額に加算されます(㊦)。ただし、機械据え付けの事業では、請負代金から、それらの機械装置の価額を差し引いて算出します。(㊦)

※(表1) 開始時期によって記入する段

平成27年、平成30年および令和6年に労災保険率および労務費率が改定されていますので、次によって記入してください。

事業の開始時期	事業の終了	記入する欄
平成25年10月1日～平成27年3月31日	令和7年度中	開始時期①の段
平成27年4月1日～平成30年3月31日	令和7年度中	開始時期②の段
平成30年4月1日～令和6年3月31日	令和7年度中	開始時期③の段
令和6年4月1日以降	令和7年度中	開始時期④の段

消費税に注意

集計にあたっては、平成27年3月31日までに開始した事業については消費税を含めた額を計上し、平成27年4月1日以降に開始された事業については、消費税を含まない金額を計上してください。

※特別加入者の日額変更について

給付基礎日額の変更が可能な時期は、前年度の3月2日から3月31日の間、または、年度更新期間中になります。

前年度(令和7年度)から継続して加入している特別加入者で、年度更新前(4月1日から7月10日)に発生した労災事故について、変更後の給付基礎日額での対応が行われるためには、前年度に変更を申請しておく必要があります。

なお、令和8年4月1日から給付基礎日額変更申請書を提出するまでの間に被災された場合には、令和8年度の日額変更はすることができません。

変更できる金額は下の表にある給付基礎日額のみです。

給付基礎日額	保険料算定基礎額
25,000	9,125,000
24,000	8,760,000
22,000	8,030,000
20,000	7,300,000
18,000	6,570,000
16,000	5,840,000
14,000	5,110,000
12,000	4,380,000
10,000	3,650,000
9,000	3,285,000
8,000	2,920,000
7,000	2,555,000
6,000	2,190,000
5,000	1,825,000
4,000	1,460,000
3,500	1,277,500

年度途中の基礎日額の変更はできませんので、注意してください。

※一般拠出金について

石綿による健康被害の救済に関する法律の規定に基づき、前年度から引き続いて労災保険の保険関係が成立している事業の事業主は、毎年保険料の年度更新と併せて一般拠出金を納付することとなっています。その額は「前年度の賃金総額(千円未満は切捨て)」に一般拠出金率(1000分の0.02)を乗じて算出します(1円未満切捨て)。

なお、特別加入者の保険料算定基礎額については、一般拠出金の計算に含まれません。

※ 記入内容を確認のうえ、最下段の「事業主の氏名」欄に署名してください。

組機様式第8号 『労働保険等 一括有期事業総括表 算定基礎賃金等の報告』について<建設> (総コン用)

※記入の前に、◆住所◆事業場名◆労働保険番号等の印字内容が正しいかを確認してください。

【記入にあたっての留意事項】

この報告書は令和7年度の労働保険料(労災保険料)を算定する基礎となりますので、誤りの無いよう記入してください。

★ 工事の開始時期により保険料率が変わってきますので、開始時期ごとに金額を分けて記入してください。(裏面表(1)参照)

★ 一つの業種において、賃金総額の算定が労務費率によるものと、実際に支払った賃金によるものとの2本立てとなる場合は、請負金額に労務費率を乗じた額と支払賃金との合計を「賃金総額」欄へ記入します。

組機様式第8号

住所 〒700-8611  
岡山市北区下石井1-4-1

事業場名 岡山 株式会社

事業主名 岡山 監太郎 殿

労働保険等 一括有期事業総括表 算定基礎賃金等の報告

労働保険番号  
府 県 所 管 管 轄 基 幹 番 号 枝 番  
3 3 1 0 1 9 3 0 9 9 5 0 0 1

事務組合名 岡山県労働保険事務組合

事業場TEL 0868-22-0000

(TEL: 086-221-0000)

事業種類	事業の種類	時間開始	1. 請負金額		費 率	2. 賃金総額		労災 保険率等	引 当 率	保 険 料 等	3. 一括有期 事業報告書 枚数		
			円	%		千円	円						
31	水力発電施設 ずい道等新設 事業	①			18			89			4. 常時使用労働者数 5		
		②			19			79					
		③			19			62					
		④			19			34					
32	道路新設事業	①			20			16			5. 事業の概要 3501		
		②			20			11					
		③			19			11					
		④			19			11					
33	舗装工事業	①			18			10			6. 新年度賃金見込額 1. 前年度と同額 2. 前年度と変わる		
		②			18			9					
		③			17			9					
		④			17			9					
34	鉄道又は軌道 新設事業	①			23			17			7. 延納の申請 1. 一括納付 ② 分納(3回)		
		②			25			9.5					
		③			24			9					
		④			19			9					
35	建築事業	①			21			13			8. 委託解除年月日 9. 委託解除提出金納付		
		②			23			11					
		③	6	2	2	7	8	0	0	0		23	9.5
		④	1	6	3	9	0	0	0	0		23	9.5
38	既設建築物設 備工事業	①			22			15			10. 延納の申請 1. 一括納付 ② 分納(3回)		
		②			23			15					
		③			23			12					
		④			8	8	9	0	0	0		23	12
36	機械装置の組 立又は据付け の事業	①			38			7.5			11. 開始時期 ①C 平成24年4月1日～ 平成27年3月31日 ②B 平成27年4月1日～ 平成30年3月31日 ③A 平成30年4月1日～ 令和6年3月31日 ④ I 令和6年4月1日～		
		②			40			6.5					
		③			38			6.5					
		④			38			6					
	その他のもの	①			21			7.5					
		②			22			6.5					
		③			21			6.5					
		④			21			6					
37	その他の建設 事業	①			23			19			12. 特別加入者・保険料 算定基礎額の計		
		②			24			17					
		③			24			15					
		④			23			15					
計													
特別加入者				2 人分									
保険料計													
一般拠出金							0.02						

「1. 請負金額」の欄について(円単位)

「一括有期事業報告書」において、請負金額を事業の種類・開始時期ごとに合計し、この欄にその額を記入します。なお、総コンの場合の請負金額は、①欄は消費税込みの額、②～④欄は消費税を除いた額を計上してください。(※①～④については、変更の場合もあります)

「2. 賃金総額」の欄について(千円単位)

「一括有期事業報告書」において、保険料の算定方法が支払賃金による場合、及び、請負金額・支払賃金が混在している場合、事業の種類・開始時期ごとに合計し、千円未満を切り捨ててこの欄に記入します。

「3. 一括有期事業報告書」の欄について

別途作成の報告書の枚数を記入します。

「4. 常時使用労働者数」の欄について

前年度中の1日平均使用労働者数を記入。

【算式】 令和7年度中の

$$\frac{\text{延べ使用労働者数}}{\text{所定労働日数}} = \text{常時使用労働者数 (1日平均労働者数)}$$

「5. 事業の概要」の欄について

主たる事業(工事の内容)を具体的に記入します。

「6. 新年度賃金見込額」の欄について

前年度と特に変わる予定が無ければ原則として「1. 前年度と同じ」に○をつけてください。

「2. 前年度と変わる」に○をつけるのは、事業の拡大に伴い賃金見込額が2倍以上になる予定、または、事業の縮小に伴い賃金見込額が半分になる予定の時です。その時は併せて賃金見込額も記入してください。

「7. 延納の申請」の欄について

一括納付を希望する場合は「1」を、3期に分割して納付を希望する場合は「2」を○で囲みます。

★「申告済概算保険料」の欄について

令和7年度中に支払った概算保険料が正しいか確認してください。

No	特別加入者の氏名	承認された基礎日額	適用月数	希望する基礎日額	No	特別加入者の氏名	承認された基礎日額	適用月数	希望する基礎日額	No	特別加入者の氏名	承認された基礎日額	適用月数	希望する基礎日額
02	岡山 監太郎	5,000		5,000	03	岡山 監二郎	7,000		7,000					

別途一括有期事業報告書の明細及び算定基礎賃金等を上記のとおり総括して報告します。

令和 8年 〇月 〇日

事業主名

岡山 監太郎

岡山 労働局労働保険特別会計歳入徴収官 殿

委託手数料	
1期	
2期	
3期	

作成者名 岡山 監太郎

特別加入者の欄について

引き続き加入を希望する場合は、「希望する基礎日額」を記入します。

(前年度と同額でも、記入してください。)

脱退を希望する場合は、「希望する基礎日額」欄に「000」を記入します。

適用月数の「確定」欄は前年度の加入した月数です。確認してください。

日額変更の申請方法、日額について詳しくは裏面を参照してください。

不明な点は

～お問い合わせください

月 日までに提出してください。